

## 交流，共同学習の記録

### 1 学校名，授業者名

- ・自校 大仙市立 東大曲小学校 内村 さおり
- ・相手校 大館市立 山田小学校 石井 真理

### 2 学年，組

- ・自校 1年生
- ・相手校 1・2年生

### 3 交流，共同学習のねらい

- ・ 面白いお友達となかよくふれあいながら、きりたんぼを作ることができる。

### 4 学校外の人にTV会議システム利用を広げるねらい（必要性）

- ・ 学校外の支援者～佐藤 まどかさん・赤坂フミさん（山田小：きりたんぼづくりの先生）  
東大曲小の保護者 3名（東大曲小：児童と共にきりたんぼ作り）
- ・ ねらい ～TV会議システムを利用した共同学習において、児童の学習意欲の向上を図り、きりたんぼ作りの手法について、遠隔地の職人の技を指導をしていただくことができる。

### 5 実際

#### (1) 教科，単元名（題材名）

- ・ 生活科 「つくってみよう！ おいしいきりたんぼ」

#### (2) 本時のねらい

本時は、学校外の人学習活動を支援する時間

- ・ 面白いお友達やおうちの方となかよくふれあいながら、きりたんぼ作りに挑戦することができる。

#### (3) 本時の実際

学習活動	教師（学校外の人）の支援
1. きりたんぼの作り方の説明を見聞きし、覚える。	（ポ）山田小の佐藤さん・赤坂さん：きりたんぼを実際に作って作り方の手順や注意点を説明する。 （教）様子がよくわかるように、ボランティアの方の手元をカメラでズーム等して映す。
2. きりたんぼ作りをする。	（教）両校同時に作業していけるよう、教師同士で確認し合って作業を進める。手順や分量等、分からないことなどをカメラを通じてすぐに質疑応答できるようにする。 （ポ）児童の質問に応えたり、励ましたりする。
3. 作ったきりたんぼを食べ、感想を発表し合う。	（教）作った感想や、食べた感想などについて全員が話す機会を持つよう、声をかける。

### 6 実践を通しての提言

ボランティアの方と顔を合わせながら会話できるので、コミュニケーションがとりやすく、児童もすぐに親近感を抱ける。

遠く離れた地域の「職人の技」を身近で見ることができ、何よりの教材となる。

作り方や作業の様子を画面に映しながら会話もできるので、大変分かりやすく便利である。

今回の授業は、きりたんぼ作りを知り実際に作ってみるという体験を主とした活動だったので、TV会議システムのよさを最大限に活かして進めることができた。ボランティアの方々も一緒に手際よく作業を進めてくださり、効果的であった。